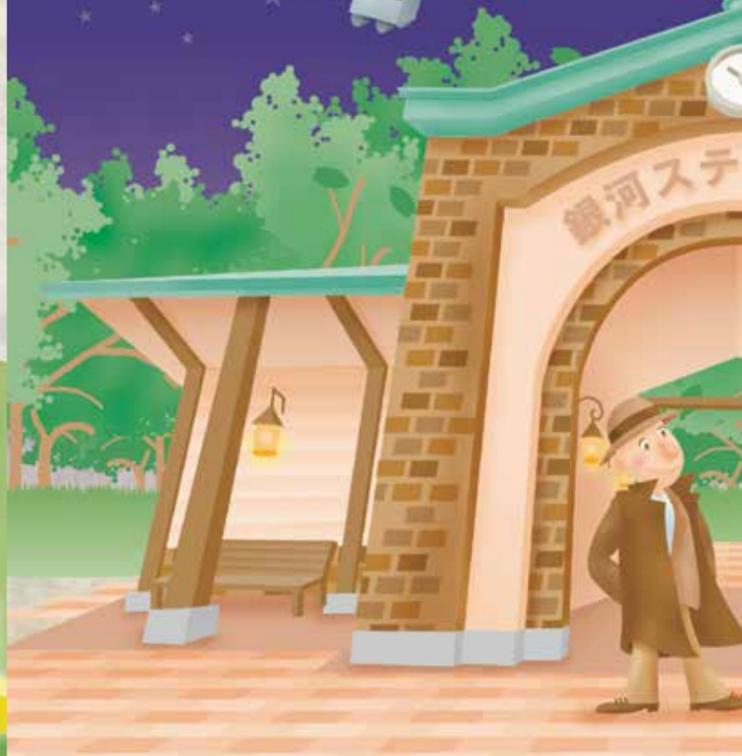


ようこそ、
Welcome to DOWAMURA
童話村へ。



ご利用案内

★交通案内 東北新幹線新花巻駅より 2km (車で約3分) 花巻ICより 9km (車で約15分)
東北本線花巻駅より 8km (車で約15分) 花巻空港ICより 3km (車で約5分)
いわて花巻空港より 6km (車で約10分)

★所在地 〒025-0014 岩手県花巻市高松26-19
TEL.0198-31-2211 FAX.0198-31-2213

★開館時間 午前8時30分から午後4時30分

★休村日 12月28日から1月1日まで

★入館料

入館料	[区分]	【個人】	[20名以上の団体]
		小学生・中学生	150円
	高校生・学生	250円	1人につき200円
	一般	350円	1人につき300円

共通入館料	[区分]	【2館共通】	【3館共通】	【4館共通】
	童話村(賢治の学校)	小学生・中学生	200円	300円
花巻市博物館	高校生・学生	350円	550円	650円
宮沢賢治記念館	一般	550円	800円	1,000円
花巻新渡戸記念館				

※共通入館料の団体割引はありません。



「銀河ステーション、銀河ステーション」
夜の野原で、ジョバンニが耳にしたのは不思議な駅の名前。
カンパネラとジョバンニ…この駅から、
二人だけの、銀河への旅が始まりました。
この「銀河ステーション」が、童話村への入り口です。
さあ、あなたもこの駅をくぐって、魅力いっぱいの
賢治童話の世界へ出発しましょう。



賢治の教室

全7棟のロケハウス展示施設「賢治の教室」では、賢治童話に登場する「種物」「動物」「星」「鳥」「石」について、楽しく学ぶことができます。さあ、想像力をいっしょに使って、賢治さんが童話に込めた願いを探してみよう。おそそへての賢治童話に登場するといつてもよい「植物」「さんぐりしん猫」など多くの童話で愉快な役を演じる「動物」。「銀河鉄道」の夜「なごて大地の次は水中へ。クラムホンの笑い声と沢蟹の兄弟のさやき響きわたる「水の部屋」でも、ゆらめく光の世界を歩いて行きましょう。ここはまさに「イーハトーブ」の第4次幻想空間。宇宙から水中へ、部屋のドアを開くと、賢治童話のめぐる不思議世界が空間いっぱい広がります。

賢治の教室



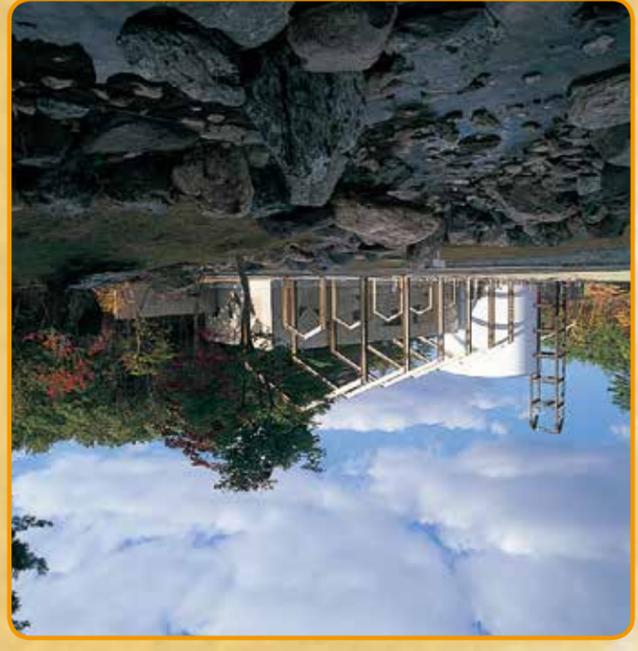
石の教室 鳥の教室 星の教室 動物の教室 植物の教室



水の部屋 大地の部屋 天空の部屋 宇宙の部屋 フラタシツクホール

賢治の学校 賢治の学校では、ちよと変わった世界を見ることができ、まずは「フラタシツクホール」の「賢治の椅子」に腰掛けてみて下さい。壁の本棚には森や星空など、賢治童話の風景が映し出されます。次は、巨大万華鏡でできた「宇宙の部屋」。きらめく星空と、ゆらゆら揺れる天の川を見ながら幻想的な宇宙空間の中を進み、「天空の部屋」へ。「イーハトーブ」の空を走る風や雪になって、地上へ降りていきましよう。賢治童話が光の文字になって、天空から降りてきます。そして、巨大な虫たちを迎えられ、「大地の部屋」へ。小さな虫の気分になって生き物たちの世界を探検しましょう。大地の次は水中へ。クラムホンの笑い声と沢蟹の兄弟のさやき響きわたる「水の部屋」でも、ゆらめく光の世界を歩いて行きましょう。

賢治の学校



賢治の学校

今、天仁さんが鳴り響きました。
さあ、賢治先生の授業のたまごがたまります。

童話村全体マップ

ファンタジックな賢治童話の世界を体験!

人の声のくだ
小さな声でささやいてごらん。ほら
こんなにはっきりと聞こえる。

風景の鏡
同じ風景でもこんなに違う。
あなたの本当の姿はどっち?

童話のベンチ
腰かけてみよう。雲や風や木々が
話しかけてくれる。

ふくろうの小径

森の店っこや
2号店

植物の教室

動物の教室

星の教室

鳥の教室

石の教室

童話の扉
ページをめくって童話の
世界へ入ってみよう。

森の店っこや

賢治の教室

賢治の学校

石っこ広場

ファンタジック
ホール

宇宙の部屋

天空の部屋

水の部屋

大地の部屋

花巻市博物館入口

ステージ

森のやすみや

銀河ステーション広場

階段を降りて、水の上流へ
童話村の階段はとっても不思議
な階段。小川の上流へ登るはず
が、なぜか階段は下っていく…。
階段を降りていくのに、登ってい
く!?、そんな不思議な感覚は、
まさに4次元の世界です。

のっほになるゲート
ゲートをくぐって、星座が散りばめられた通路を歩いて行きましょう。どんどん
進んでいくと、アラ不思議。自分がのっほになっていく!? その奥にあるのは
不思議の国の鏡。なんと、鏡に自分の姿が映りません。どうなっているの!?

天空の広場



銀河ステーション

「銀河鉄道の夜」でジョバンニとカンパネルラが銀河へと旅立っていった「銀河ステーション」。この駅を一歩くぐれば、そこはもう宮沢賢治ワールド。空だって自由に飛べるし、動物たちともお話できる。童話村は、そんな楽しい所です。



妖精の小径

でんしんばしらが行進する妖精の小径
(こみち)。道に置かれたベンチに座って
ひと休み。するとどうでしょう。どこから
かイーハトーブの物語が聞こえてきます。



山野草園

賢治童話に登場する美しい山野草が
ずらりと勢揃い。「賢治の教室」の植
物の教室で覚えた山野草を見つける
ことができるかな?

